

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する 住民等からの意見聴取について

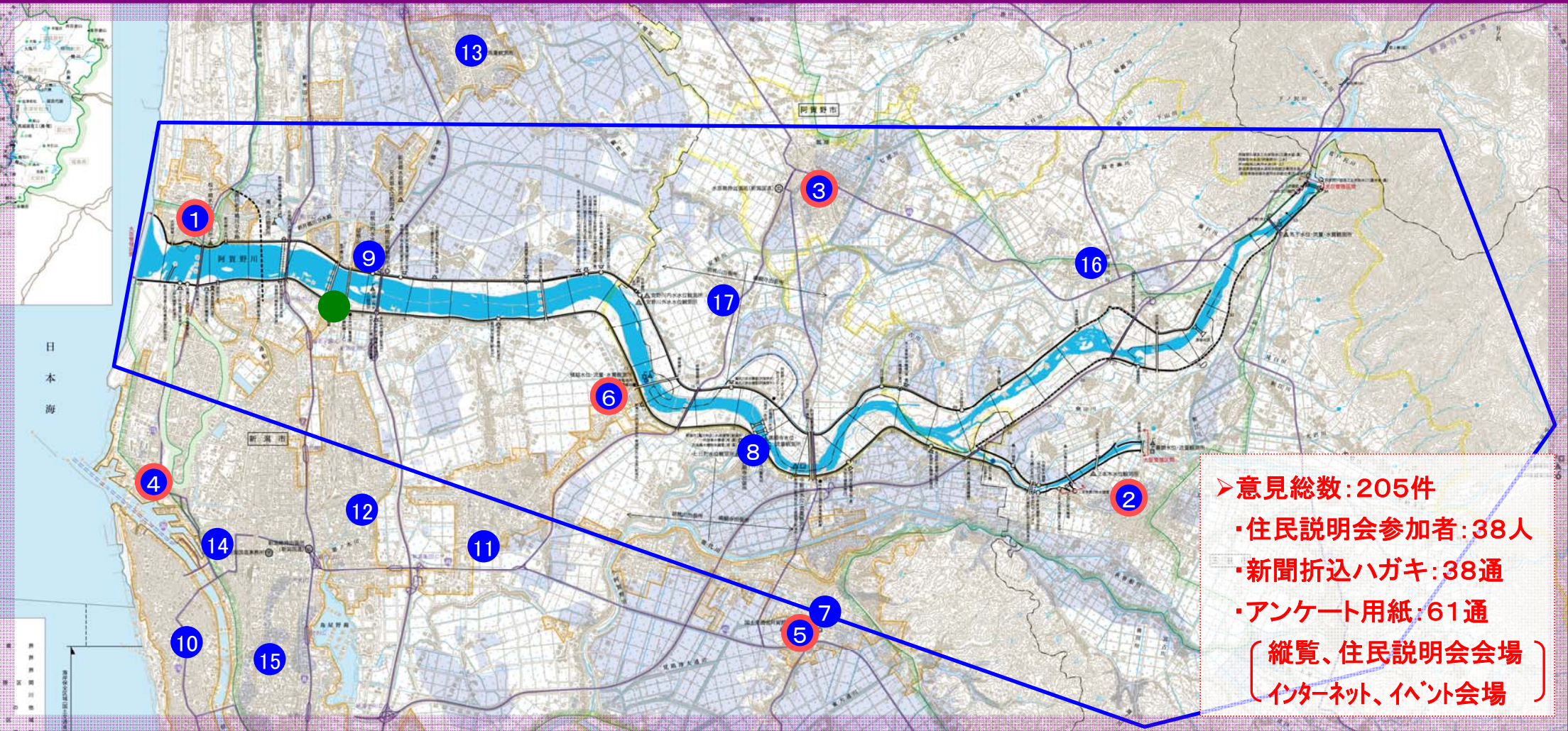
平成21年10月
国土交通省 北陸地方整備局

意見聴取の方法と範囲

凡 例

-  : インターネットによる意見聴取
-  : 新聞折込チラシによる意見聴取
-  : 住民説明会による意見聴取
-  : 縦覧施設

NO.	開催場所	NO.	開催場所
 1	北区 北出張所	 10	新潟市役所
 2	五泉市福祉会館	 11	江南区役所
 3	阿賀野市役所	 12	東区役所 石山出張所
 4	中地区公民館（縦覧：東区役所）	 13	北区役所
 5	新津地区市民会館（縦覧：秋葉区役所）	 14	中央区役所 東出張所
 6	江南区 横越出張所	 15	中央区役所 南出張所
 7	阿賀野川河川事務所	 16	阿賀野市役所 安田支所
 8	阿賀野川河川事務所 満願寺出張所	 17	阿賀野市役所 京ヶ瀬支所
 9	阿賀野川河川事務所 胡桃山出張所		阿賀野川河川公園(8月2日東区区民ふれあい祭)



1. 縦覧コーナー設置による意見募集

■縦覧できる資料

- ・阿賀野川河川整備計画(骨子案)
- ・阿賀野川の概要及び現状と課題
- ・阿賀野川水系河川整備計画の目標設定と計画メニューの骨子案について

■実施時期:9月9日～9月30日

■実施場所:全17箇所

- ・国土交通省(事務所、出張所)
- ・新潟市役所(本所、区役所、出張所)
- ・阿賀野市役所(本所、支所)
- ・五泉市役所

■案内方法:新聞折込チラシ、ホームページ、記者発表



阿賀野川河川事務所縦覧コーナー



縦覧コーナー、住民説明会等でのアンケート(一部)

2. チラシによる意見募集

ハガキ付きの新聞折込チラシを阿賀野川・早出川沿川に約5万部配布し、
骨子についての意見を募集しました。

- 実施時期:9月25日(金)
- 実施方法:新潟日報の折込チラシ
- 配布先 :阿賀野川沿川の地域
- 配布部数:約5万部



新聞折込チラシによるアンケート(一部)

キリトリ	キリトリ
	郵便はがき
料金受取人弘郵便	956-8790
	(受取人)
	新潟市秋葉区南町14-28
	阿賀野川河川事務所
	調査・品質確保課 行
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	

阿賀野川の川づくりに
あなたのご意見をお聞かせ下さい

10月5日(月)までにご投函ください

国土交通省 北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所
TEL: 0250-22-2211 (代表)
FAX: 0250-24-6620

ご意見欄 (阿賀野川水系のうち新潟県側を対象としています)

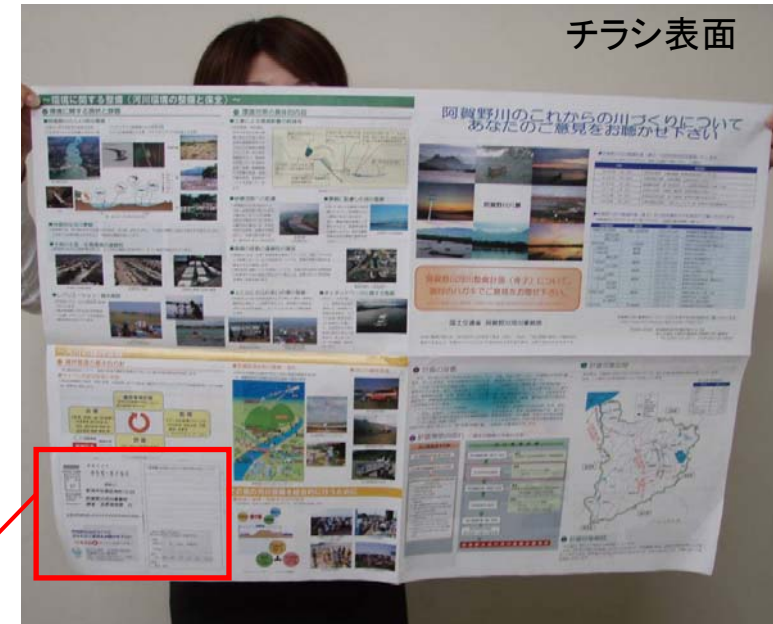
ヤマトリ
にて貼り付けて下さい

ご協力ありがとうございます。
差し支えなければ、以下の項目にもお答え下さい。

ご住所
・新潟市(区)・五泉市・阿賀野市
・その他()

年代
・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上

性別
・男性・女性



チラシ表面



チラシ裏面

3. 住民説明会の開催

阿賀野川沿川の新潟市各区、阿賀野市、五泉市で住民説明会を開催しました。

■案内方法:新聞広告、東区報、記者発表、新聞折込チラシ、ホームページ

■日時・場所:下記の通り

日時	開催場所
9/28(月) 18:30～	北区北出張所 3階会議室(新潟市北区松浜1-7-9)
9/29(火) 19:00～	五泉市福社会館 2階会議室(五泉市太田1092-1)
9/30(水) 18:30～	阿賀野市役所 第一多目的ホール(阿賀野市岡山町10番15号)
10/1(木) 18:30～	中地区公民館 4階第二講座室(新潟市東区古川町4-12)
10/2(金) 18:30～	新津地区市民会館 第二会議室(新潟市秋葉区程島2009)
10/5(月) 18:30～	江南区横越出張所 1階コミュニティ室(新潟市江南区横越中央1-1-1)

住民説明会の様子



秋葉区会場



江南区会場



阿賀野市会場

4. イベント会場での意見聴取

阿賀野川の河川敷で開催された「第3回 東区区民ふれあい祭」において、骨子についての意見を募集しました。

■日時: 8月2日(日)

■会場: 阿賀野川河川公園

夏のイベント 第3回 東区区民 **ふれあい祭**

区民の皆さんがふれあい、夏の一日を楽しむ「東区区民ふれあい祭」を、8月2日に開催します。3回目となった今年も、たくさんの催しが企画されています。多くの方のご来場をお待ちしています!

日時 8月2日(日) 午前9時20分～午後4時
会場 阿賀野川河川公園 ※雨天決行

イベント会場 周辺マップ

イベントスケジュール

午前9時20分……………模擬店利用割引券配布(先着1000人)
午前9時30分～10時10分……大形中学校吹奏楽部演奏
午前10時10分～同20分……開会式
午前10時20分～正午…………東区芸能ステージ
正午～午後4時……………ふれあいにぎわいステージ

ふれあいにぎわいステージイベント内容

- ・小京都戦隊カモレンジャー(①正午から②午後2時30分から)
- ・バルーンショー(①午後0時30分から②午後2時から)
- ・ダンスユニット「ピープルパワー」(①午後1時から②午後3時から)
- ・柳都・舞「サッサ団子」(①午後1時30分から②午後3時30分から)

・模擬店 ・緑日コーナー ・防災防災コーナー(地震体験車がやって来る!) ・健康福祉コーナー
・ワークセンター、区社会福祉協議会コーナー ・東区特産品、新鮮野菜販売コーナー ・水と土の芸術祭コーナー

問い合わせ 地域課産業振興室(☎250-2170)

イベント会場の様子



会場の様子



ブース設置状況



骨子資料の閲覧状況

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
河川整備計画全般について			
1	全体に洪水が起きないようにしてほしい。自然を残して欲しい。	本整備計画の趣旨、河川整備の基本理念、及び本整備計画の目標に記述しておりますが、ご意見のとおり治水、利水、環境に関わる施策を総合的に進めていきたいと考えております。	(原案) P1～P2 P119～P12 1
2	近年、毎年のように洪水が起こり、いつか堤防が決壊するのではないかと不安になります。課題としてあげられているものについて、積極的に整備を進めていただき、周辺の街と調和できるようなものをつくってください。		
3	今後も、河川整備等を行ってください。(洪水災害防止のためにも)		
4	安全管理の為に活動されている役所の人、関係者の方には感謝。		
5	国、地方の財政が厳しい中であっても、将来を見据え、国民の生命、財産の安全安心を確保してゆく今回の整備計画策定は、大切な計画だと思います。阿賀野川は、地域のみならず、国にとってもかけがえのない、守るべき自然環境であり文化です。異常気象、変わりゆく社会環境を考え、真の国民財産として誇れる阿賀野川を創造すべく計画策定をお願いいたします。		
6	阿賀野川の雄大な河川風景はすばらしい財産と思っています。この雄大な河川が人をいやし、川からの恵みも多くありがたい感謝の気持ちで毎日川をみています。しかし、近年の大雨がいつこの川を暴れさせるかわかりません。自然にやさしい治水対策をしっかりと行ってください。		
7	天災はいつやってくるかわかりません。洪水被害にあわないようにしっかりとした土台が出来ることは良いことだと思います。細かいことはわかりませんが今の自然もこわさず、計画がすすんでいったらいいと思います。		
8	河川整備について専門的な事はよくわかりませんが、自然環境を保ちつつ整備してゆくのは大変な事だと思います。住民が安心して生活できるようよく配慮されていると思います。		
9	日本は勿論世界の大都市には、必ず大河が流れ、特徴ある風情をかもし出している。阿賀野川も新潟が与えられた天からの贈り物である事を認識し、その良さを今後とも開発、維持することは肝要と思われる。まず治水あって、その後利用を願いたい。		
10	木津切れの歴史を語りつぎ、やはり治水優先の阿賀野川をお願いしたい		
11	一級河川である阿賀野川は、広大な流域の人々と長い歴史でかかわってきました。近年、異常気象による豪雨災害が毎年のようにおこなっております。河川の整備は、災害を防ぐためにも大変重要なことであると思っております。今後も計画的に河川を整備して頂くと共に、地域住民が安心して川とかかわれるような機会ができればよいと期待いたします。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
12	近年異常気象等で集中豪雨、又は突然地震が発生し何時災害が起きるかわからない状態ですが、阿賀野川は福島県から新潟県、日本海へと流れる広大な一級河川です。この沿川地域住民の生命と財産を災害から守り、自然と環境保全をしていく「河川整備計画」は大変重要な事です。		
13	みんなが楽しめるものを作ってもらいたい。阿賀野川の特徴を生かしてもらいたいと思います。		
14	維持管理しやすい計画でお願いしたい		
15	阿賀川をも大切にほしとまうている		
16	公共事業に対するバッシングがあるが、治水は聖域と考えて財源確保に努力願いたい。		
17	長びく構造不況による税収の低減や公共事業見直しの世論等、河川整備計画を含む建設行政を取巻く環境は必ずしも良好とは言えません。しかしながら国民の生命財産の保護に直結する課題であり、関連自治体並びに地域住民(整備の恩恵に欲さない他の国民全体を含め)の理解と協力を得られる努力を、今後とも期待いたします。本日は、治水・利水・環境等の多岐に渡る有意義なお話を伺いました。ありがとうございました。		
18	近辺に存在する文化遺産との調和にも配慮頂きたいです。		
19	沿川地域住民の先人の皆様が阿賀野川と共に歩んで来た大切な歴史と文化を継承して、地域住民の川にして下さいます様お願い致します。	本整備計画は、阿賀野川水系河川整備基本方針に基づいた河川整備の当面の目標であり、本計画を基に、洪水氾濫等による災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせるよう河川の整備等を進めていくものです。 なお、本計画は現時点の流域における社会経済状況、自然環境の状況、河道状況等を前提として策定するものであり、策定後のこれらの状況変化や新たな知見、技術の進捗等により、必要に応じて適宜見直しを行っていきます。	(原案) P1 P4
20	阿賀野川の文化を子供達に伝承をした方がよい。		
21	無駄な税金の使い過ぎ。これ以上、手を掛ける必要があるとは思えなし。アホらしくなるイベントも止めてほしい。		
22	いつも国交省はきれい事をいっているが、むだな税金を使っていると思われる。整備計画もいいが税金がどれだけかかるのか説明あってもいいのではないかな？自分のお金だったらよく考えて使うと思うのです。とにかく無駄のないように使用してもらいたい。		
23	今問題になっている様に無駄な作業は控えてほしい。専門家と良く話し合い必要な所はやってほしいがもっと別な所にお金をかけてほしい！！”税金ですよ”		
24	住民の河川整備等の認識を広めるため、広報活動などを充実させる。(イベント等)維持管理の充実(草刈など)	本整備計画の目標達成までには概ね30年の長期間を要します。様々な課題に柔軟に対応し、取り組みを実効性のあるものとしていくためには、地方公共団体などの行政担当部局と河川管理者の緊密な連携はもとより、地域住民の理解と協力に基づく流域一体となった連携・協働が必要不可欠です。 このため、本整備計画策定段階はもとより今後の河川工事や河川管理の実施段階においても、積極的な情報の公開と情報の共有に努め、参加・連携の機会を確保することにより、行政と地域との対話や相互理解を促しながら本整備計画を推進します。	(原案) P166～169
25	このような資料を見るのは初めてなので興味深く目を通し、ホームページも見ました。広報活動もやっているのですが、一般国民の目に触れることが少なく、殆ど無知に近いです。安田地区右岸の整備も堤防の道路を利用しない者には分からない。治水、利水、環境保全の大事な事業なのでもっと広報(自治体の広報活用も)		
26	阿賀野川周辺には古くからの河川文化に係わる祠・神社・仏閣などが残っており、住民にもっとPRするとともに、大事にしてもらいたい。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
27	河道湾曲部の掘削工事等、取り組んでいる事業をもっと広報して住民に知らせて欲しい。老人などは川の怖さを知っているので、川に非常に関心がある。		
28	いくつかの質問にお答えいただき、勉強になりました。市と同じ行政マン(国家と地方)と連携していけたら市民のためになると信じて日々励んでいこうと決意表明します。どうぞよろしくお願いいたします。乱筆ですいません。		
29	川に関係した事を聞きたくとも何処へ行ったらよいのわからない。聞いてもいないが、気楽に立ち寄れるところがあたらうれしい。		
30	頭首工上流から中抜け区間があるのはおかしいので阿賀野川を一連で管理してほしい。	本計画の対象区間は、国土交通省の管理区間(大臣管理区間)である91.15kmを対象とします。 阿賀野川頭首工上流の中抜け区間については、別途新潟県と福島県によって管理されていますが、整備等の実施にあたっては、各県と連携、調整を図っていきます。	—
31	河川本来の整備で良いと思います。決して公園、道路整備を付帯しないで下さい。それらは、各自治体の負担で行ってください。管理体制も市町村と重複している部分があると思います。市町村と体制を協議してはどうでしょうか。	公園、道路整備は本整備計画には含みません。それらは各自治体が整備します。 河川管理者は河川空間の管理にあたっては、河川敷地の占有者に対しその目的と治水上、環境上及びほかの占用施設への影響を考慮し、その占用施設が適正に管理されるように占有者に指導しており、管理体制の重複はありません。	(原案) P158、P166
32	整備計画パンフレットを見たが、骨子(案)に書かれている整備箇所が明示されていないの何故か？阿賀野川に関心を持ってもらうためにも明示してもらった方が住民にとってはよかったのではないかな	河川整備計画(骨子)の段階では整備箇所は示しませんでした。河川整備計画(原案)では河川整備計画附図に具体的整備箇所を明示します。	(原案) 附図
33	”しゅんせつ”必要部分の把握と実施のPR		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
意見聴取について			
34	整備計画について、地元意見や考え方を聞いてほしい。そして、必ず返事を伝えてほしい。	河川整備計画の策定にあたり、有識者、関係自治体、地域住民の皆様のご意見を幅広くお聞きしています。 地域住民の皆様からの意見聴取は、アンケート、住民説明会を実施してきました。今後も阿賀野川河川事務所、市役所、区役所、および事務所ホームページにおいて、随時募集していきます。いただきましたご意見は、本整備計画作成の参考にさせていただくとともに、対応を付してすべて公開させていただきます。 今後は広報活動にも力を入れるとともに、説明会等の開催方法を工夫し、地域の皆様に参加できる川づくりとなるよう努力して参ります。	—
35	計画を拝聴しました。とてもわかりやすくお話いただけました。せっかくの説明ですが、参加者が少なめな感があります。説明会開催の方法を検討すればもっと多くの人が説明会に出席出来るのではないかと考えます。		
36	河川整備計画について、住民説明会に出された意見等については公開を考えてほしい。		
37	行政(管理者)は、住民と身近な空間としての川の役割を考えた施策を行ってほしい。川を掘削し、堤防の嵩上げでは味がない。地域住民とワークショップ的なものを開催して改修プランを作り上げてほしい。		
38	今回のパンフレットは子供の頃より大雨が降ると心配しづけている事を再確認させてくれました。意見を書く機会があり良かったです。		
39	きっかけをありがとうございました。 水、川は当然のものと思っている部分があり、これからは、もう少し考えていきます。		
40	一通り読ませていただきましたが、こらからの阿賀野川の事を言う前にこのアンケートに問題があり過ぎるのでその事を書きます。 ・専門用語が多すぎて書いてあることの意味がよくわからない！あなた達はプロかもしれないが、こっちは素人なのだから、もっと分かりやすく書かないとダメ！！怒 ・これだけ多くの問題に対してハガキ1枚で意見を書けとは…。河川事務所のヤル気を感じられない！以上！！怒	大変申し訳ありませんでした。今後は、よりわかり易い資料作成や説明となるよう努力して参ります。	—
41	必要で心配感のある場所は、工事してほしいが、このチラシなど我々が見てもなんだがわかりづらい。		
42	全体を続けるより途中で質問させてもらえるといいかと思う。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
治水(洪水による災害の発生防止又は軽減に関する事項)			
43	100年に1回の大雨にもたえられる計画の作成をしてほしい。	本整備計画の目標に記述しておりますが、阿賀野川水系河川整備基本方針で定めた計画高水流量13,000m ³ /s(150年に1回起こるであろう洪水規模)に向けて、上下流の治水安全度のバランスを確保しつつ段階的かつ着実に整備を進め、洪水による安全度の向上を図ってまいりたいと考えております。	(原案) P119
44	今後50年～100年先の治水対策をお願いします。		
45	信濃川では河川改修を行い堤防を2m位高くしましたが、阿賀野川は更に急流である為大雨の場合、上越し、或いは堤防決壊の危険性が高いと思われるが長期大計の河川改修を計画されてはいかがでしょうか。		
46	阿賀野川の現状安全度が20～30年程度しかないものとの話はびっくりした。より安全の度合を増やすべきである。		
47	整備計画の基本となる洪水流量に関し、基本方針の計画高水流量(馬下地点13,000m ³ /s、1/150)に対し、どのような位置付けにある流量なのかを明確にしておくべきでないでしょうか。 ※ 工事に関する事項の実施に際しても、河川整備は生活密着型の道路整備等に比して、住民に見えにくい状況があります。 ※ 法に基づき定められる今回の整備計画の各事項に異論ありませんが、整備計画の基本となる洪水流量に関しては、今後の整備計画の円滑な実施も考慮し、この際、住民に説明して理解を得ておく必要があるものと思慮されます		
48	計画洪水規模13,000m ³ /sは計画規模を大きくしすぎるのではないかな？	阿賀野川水系河川整備基本方針では、流域面積、想定氾濫区域面積、想定氾濫区域内人口、資産の全国的なバランス、また上下流のバランスも考慮して、阿賀野川での基準地点馬下における計画高水流量を13,000m ³ /s(150年に1回起こるであろう洪水規模)と定めており、この計画規模は全国の他の河川と比較しても妥当な規模となっています。なお、阿賀野川で過去に発生した洪水では、大正2年8月洪水が当時の破堤や越水による氾濫状況や痕跡水位等から13,200 m ³ /s～15,900m ³ /sの洪水流量であったと推算されています。	—
49	地球温暖化が言われているゲリラ豪雨を考えられる十分な対策を望む	近年、わが国ではこれまでの記録を超える豪雨や局地的な集中豪雨による水害が多発しており、自然の外力は施設の能力を超える可能性があります。	(原案) P38 P122～P134 P161～P166
50	河川整備により、堤防本体、護岸等が強固となり、阿賀野川沿川住民は安心して生活できていると考える。長年に渡り、沿川住民は出水があっても大丈夫と過信してしまう。つまり、阿賀野川について関心がなくなる可能性がある。最近の異常気象等により、何時、大出水が有っても不思議ではない。いくつかの講義で聞いた話であるが、どこの河川でも当てはまる事であるが、余りにも河川の整備が進むと、万が一、大出水により、破堤等があった場合には、甚大な被害となる可能性がある。この事からしても、これからは、特に貧弱な堤防部、護岸の改修に努める必要があると考える。	阿賀野川においては、床固や橋梁等の横断工作物、樹木群等により洪水の流れが妨げられています。また、蛇行が著しいことから湾曲部の水の流れが強くなる水衝部では、深掘れが生じやすく破堤の危険性が高くなっています。阿賀野川頭首工付近から下流部では平野部が広がっており、ひとたび氾濫すると拡散型の氾濫形態となり、人口・資産の集中する新潟市等の主要都市をはじめ、広範囲に甚大な被害が想定されています。	
51	日本有数の大河である阿賀野川が洪水などにより一度破堤ともなると、流域では甚大な被害が生じることが考えられます。流域に住む住民としては、治水対策に万全な対策を講じてもらいたい。	堤防整備等のハード面の対策を計画的に実施することはもとより、堤防などの施設の能力を上回る超過洪水に対する対応としてハザード	

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
52	パンフレットを見せて頂き、洪水災害のメカニズムを勉強させて頂くとともに、これは引き起こされてはいけないと強く思いました。公園化などの利活用も大切ですが、それよりも、洪水防止に経費をかけて下さい。いざ何かあった場合の経済的損失、精神的ダメージは計り知れません。お仕事がんばって下さい。	マップの整備普及への支援や洪水情報の提供、防災体制の充実に向けた取り組みの強化など被災を最小化するためのソフト面からの対策がますます重要となっています。	
53	人が安心して憩いの場として活用する為には、河川の安全が一番です。	このような阿賀野川下流部の現状と課題に対し、次の治水対策の実施や減災に向けた取り組みを総合的に推進します。また、既存ストックの有効活用を図るため、河川の維持管理を適切に実施します。 1. 河道の流下能力の向上 1) 堤防の整備(弱小堤対策、築堤等) 2) 河道掘削及び樹木伐採 2. 堤防の質的整備 3. 渡場床固の改築 4. 水衝部対策 5. 大規模地震への対応(河川管理施設の耐震対策) 6. 内水対策 7. 既存施設の有効活用 8. 減災に向けた取り組み 1) 河川情報の収集・提供 2) 危機管理体制の整備・強化	
54	これからも治水対策(堤防の補強や床固めなど)を十分に行っていただきたい。		
55	治水・利水・環境整備についてバランスを取りながら、住民、政府方針に挟まれながら日々お仕事ご苦労さまです。個人的には、災害防止に力をいれて頂きたく、年代的に過去の洪水はよくわかりませんが、もし、今阿賀野川が増水し、堤防が決壊したらと思うと、過去農地であったところが住宅地等になっていることから大災害となることでしょう。対策、整備よろしくお願ひしたいと思ひます。		
56	大変素晴らしい整備計画と感じております。(阿賀野市)上流の堤防の嵩上げ、拡幅、樹木の伐採等、早急に整備してもらえたら下流部(新潟市)との交流も深まり(川を通しての)生活圏も広がると思います。		
57	阿賀野川沿線に住居しているので流下能力不足、水衝部補強等、洪水時に対応できる対策を講じてほしい。		
58	洪水による災害防止に努めていただきたい。		
59	1)洪水、高潮等による災害発生防止 ・現在の河川計画の早期発注 弱小堤防区間(高山・笹堀・馬下・・・など) 中新田地区の河道掘削・樹木の伐採 中新田地区水衝部の対策工事 ・緊急時連絡先の再点検		
60	ほとんどないと思うが、洪水の対策として堤防のかさ上げや、拡幅ができると今までより一層安心できる。		
61	大災害(大地震等)堤防の決壊が不安です。		
62	地球温暖化に伴い近年では異常気象の為、各地で天災が続いているようです。阿賀野川付近に住居しているものとしては洪水や地震に強い堤防にしてみらいたいです。	近年、頻発している大規模地震に鑑み、将来にわたり想定される最大級の地震(レベル2地震動)が発生した場合でも、津波等による浸水被害を生じさせないよう堤防の破壊を最小限に止める必要があります。このため堤防の耐震性を検証し、耐震補強等の必要な対策を実施します。また、地震後の出水における被害状況、社会状況等を検証し、その影響の程度が著しい河川管理施設についても必要な対策を実施します。	(原案) P133 P157
63	地震にも耐えられる計画の作成をしてほしい。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
64	阿賀野川整備に最も大事なことは河口の掘削です。折角の大河も一番大事な出口が整理されてないでは戻つまりで笑われます。船の出入に、人命にも配慮して掘った砂は松浜海岸の削られている所へ移せば良い。第一番にやって下さい。返事は新聞に広告して下さい。日報「窓」欄でも可	河口部の砂州は、渇水時には塩水遡上を防ぐとともに動植物にとって貴重な河川環境を形成していますが、大きく発達すると洪水時の流下能力を低下させたり、船舶の航行に支障をきたすことになります。このため、河口砂州の動態をモニタリングし、必要に応じて維持浚渫を実施します。	(原案) P154
65	洪水を流すためには、樹木伐採をするよりも、対岸の耕作地を掘削することで流下能力や遊水地機能を向上させる方が良い。	河積の不足や樹木の繁茂によって流下能力が不足している区間では、河道掘削及び樹木伐採を行います。樹木伐採は河川の特注的な環境である砂礫河原の保全にも繋がることから、樹木群による効果と課題を踏まえて、バランスのとれた適切な樹木管理を行っていきます。また、河道掘削にあたっては、河床材料や底質等、水生生物の生息環境の変化を最小限に留める等、平水時の河川環境を大きく改変しないよう、河岸の自然環境に十分配慮します。 なお、河道掘削、樹木伐採等の工事の実施にあたっては、河川水辺の国勢調査等にモニタリング結果や環境アドバイザー等の意見を踏まえつつ、阿賀野川が有している生物の生息・成育・繁殖環境への影響の回避、低減、代償を図る、多自然川づくりを推進していきます。	(原案) P126 P143 P155
66	中新田地区左岸側の河畔林を大切にしてほしい。対岸の高水敷を掘削するなどして流心を右岸へもっていったいいけないか？		
67	あし、木などを切って、川辺が見えるように。		
68	阿賀浦橋(中新田地区)の河川林掘削は、十分検討欲しい。ワンドがあり、もうきん類のエサ場でもある。流心を右岸側に検討することもして欲しい。		
69	右岸の阿賀浦橋詰め周辺の柳など高木から低木まで全て伐採しましたが、左岸中新田集落堤外地の伐採もやるのでしょうか。四季を通して野鳥の繁殖やねぐらとなっています。生態調査など充分行なうことを望みます。 悪例 五泉市中野地内に水棲昆虫から魚、両棲類など数えきれないほどの生物がいましたが、なんの根拠もなしに埋めてしまいました。今は草やぶです。バカな担当者の顔をみたい。工事看板には生態調査をやりましたと書かれていましたがどこを見たのか。能代川の埋戻しの工法を見ていると生物など全く無視したやりかたでした。心ある役人はいないのでしょうか。		
70	最低限、邪魔ではない木は切らないでほしい。		
71	高水敷の自然を残して欲しい。		
72	中新田堤防脇に住んでいます。子供の頃は河原で様々な遊びをしましたが現在は近づくこともできない怖い川になってしまいました。河道内の樹木繁茂状態で以前にはなかった光景で遠い川になったことが残念です。水辺の遊び施設などはすぐ目に入ります。		
73	河川の通水を阻害する雑木等の伐採は、非常に良いことだと思う。		
74	④ 整備計画では「流下阻害となる樹木の伐採」が記述されてありますが、河川敷の大きな樹木を早急に伐採除去して、洪水の流出を円滑にし、堤防などの施設の安定により、氾濫等の災害を防止するべきではないでしょうか。 特に、沢海床固付付近における洪水は、旧河道の堤防が右岸部にある事もあって、床固による極めて特殊な乱流が発生する箇所、洪水時には特に注意が必要な所ではないかと考えられます。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
75	国道49号線を毎日通勤で通っていますが、新横雲橋から望む阿賀野川の広大な景色は大変美しいものだと思います。ただ、樹林が生い茂っている護岸は少し不気味な感じがします。住宅が近くにあるようなところは、もう少しきれいに整理した方がよいのではないのでしょうか？		
76	馬下頭首工から咲花温泉の裏の堤防除草と立木を切ってきれいにし観光客の散足コースに前はなっていました。今は立木と荒草とヘビの巣になっています。これをやって下さい。私は30年もそこで遊漁楽しんでいる者です。どうか私のねがいを聞いて下さい！！		
77	長い年月をかけて河川整備が行われてきた今日、地域に自然の豊かさをもたらしてきたと思います。一方では治水、利水、河川の整備が進み、人とのふれあいの場も生まれています。しかし、水がスムーズに流れるには、中すの土砂や樹木の撤去も時には必要な整備でないかと思う。これは大河川だけでなく中小河川にも言えることです。治水対策の一環として重要性を増しています。長年の洪水などの影響から中州がない流れをとり戻すことが求められています。		
78	当初堤防ができたときは、地先はきれいでした。もとに戻してください。昭和40年ごろまでは、燃料としてやなぎや葦など集落単位で刈ったりしていつも河川がきれいでしたがその後刈らなくなって河川が森状態化しています。今後、集中豪雨などあったら、木が折れたり水をさえぎったりと水だけでなく、生い茂った木のために堤防が決壊の恐れが懸念されます。今後計画の中に入っていればよいですが、入っていない場合入れ早急に伐採し、きれいな川にしてください。もし、できない様であれば仮に木のために決壊した場合、人災となり国から全額保障して下さい。		
79	流下水量がどれだけ変わってくるのかがよくわかりませんが河道内の樹木の除去は極力最小限に努めていただきたいと思います。		
80	樹木伐採時に河岸を掘り下げて、樹木が再繁茂しないようにしてはどうか。		
81	灰塚地区対岸には土砂が堆積してきており、治水上危険に感じるが？	ご意見のとおり灰塚地区の対岸は近年、洪水により運搬された土砂が堆積し中州が形成されてきています。さらにこの中州上には草木が繁茂し始めています。これらを放置すれば、流下能力不足を招くこととなるため、河道堆積土砂を撤去します。	(原案) P154
82	水制工を行った箇所については、モニタリングと同時に住民にもフィードバックをしていただき、安心を提供していただきたい。	水制工の整備箇所では深掘れの状態や対策工の効果を確認するためモニタリングを実施し、状態に応じて必要な対策を実施します。 積極的な情報の公開と情報の共有に努め、参加・連携の機会を確保することにより、行政と地域との対話や相互理解を促しながら本整備計画を推進します。	(原案) P131～P132 P166

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
83	今迄2回買収に協力して来ましたが、灰塚地先の洗掘が解決出来ません。本流を変えるしか方法はありません。対岸の横越小杉地区を掘削し、湾曲を修正すれば解決するといつも見て考えて居ます。是非御一考をお願いします。堤外地ですので用買も必要なしと思います。	水衝部対策として、灰塚地区では主としてベーン工を、横越地区では主として深掘れ箇所の埋め戻しと低水護岸工、水制工を整備し、それぞれ概成しています。深掘れの状態や対策工の効果を確認するため、モニタリングを継続し、状態に応じて必要な対策を実施します。	(原案) P131～P132
84	横越、灰塚地区の「水衝部における対策」文中、今後は、…略…モニタリングを継続し、状態に応じて必要な対策を実施する。としています。 横越地区は平成17年に概成、灰塚地区は平成21年度概成予定。「状態に応じて必要な対策を実施する」の文章表現について、基本的には理解出来るのですが、一方で十分な事前準備、検討、設計がなされ施工された施設に対し、その施設機能に疑念を抱かせる文章にも受け取られかねないかと思慮されます。	中新田地区については、近年深掘れの進行が見受けられますが、現在は未対策となっています。今後は河床の状態のモニタリング調査を継続し、安全性を評価したうえで必要に応じて水衝部対策を実施します。	
85	河川堤防の安全・安心は、地域住民の最大の感心です。中新田の危険箇所対策については、確実に計画的に実施していただきたい。		
86	羽越線の鉄橋は古くて心配になります。ぜひこの整備計画で大丈夫なようにして下さい。	JR羽越本線鉄橋(右岸)については、現在は、CCTVカメラにより監視体制を強化するとともに、近傍の堤防上に土のう等を常備し水防活動により対応しています。	(原案) P124 P165
87	JR鉄橋の架替え実現の為、国からの働きかけを強力に推進していただきたい。(河川改修に伴う、「橋梁架替」には、国の助成制度も必要なのでは？	今後は、開口部の縮小化等により水防活動を軽減させるとともに、更なる恒久対策についてもJRとの協議を継続し、検討を進めていきます。	
88	羽越本線鉄橋付近の流下能力を上げるのに、堤防の改修や樹木の伐採だけでなく、ピアの改修などしないのか？		
89	JR羽越線鉄橋の堤防横断部については、治水上の観点から強い態度で折衝すべきではないか？		
90	⑤の支障となっている工作物の所の記述「橋桁が堤防より低く…」が正しいのではないのでしょうか！？	骨子説明資料では、「JR羽越本線阿賀野川橋梁は、…橋桁より堤防が低くなっている状況にあり…」と表現しております。橋梁の橋桁の高さは、計画高水位(H.W.L.)に余裕高2mを加えた高さより高くする必要がありますが、現状では橋桁が低いため2mを確保することができず、堤防をH.W.L.+2mまで高くできない状況にあります。ご指摘のとおり、「橋桁が堤防より低くなっている状況」です。ご指摘に従い本文を修正します。	(原案) P44
91	渡場の床固め、満願寺の床固めの施設が老朽化していると思いますが、改築を検討されては如何でしょうか。	阿賀野川には、河道の安定等を目的として、渡場床固(29.4k付近)、沢海第一・第二床固(16.8k付近)が設置されています。 渡場床固については、老朽化と下流河床の局所洗掘が著しく構造的に不安定であるとともに、敷高が高く流下能力が不足しています。このため今後模型実験等を行いながら適切な対応方法を検討し、必要に応じて改築等の対策を実施します。 沢海第一・第二床固については、老朽化・損傷しており、船通しが機能していないため、必要な調査検討を行います。	(原案) P130 P155

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
92	長期的な計画はわかりやすかったが、緊急度、優先順位等の具体的説明が、いただけたら良かった。	河川整備計画(骨子)の段階では整備内容の優先順位は示しませんが、本整備計画策定までの間に今後30年間の河川整備の費用対効果を検討し、整備内容の優先順位を示していきます。	-
93	整備計画に定められた「工事に関する事項」について、今後も厳しいと思慮される予算状況下で、より効果的な施工工程(優先順位等)の十分な検討をお願いしたい。		
94	計画策定の中で福島県との連携はなされているのでしょうか。上流域との河川構造との関連は考慮されているのでしょうか。上流域の川の直線化が進行しているように思います、そのため、下流への到達時間が短くなり、洪水(水位上昇)が起き易くなるような気がします。部分的の改修ではなく、総合的な見地からの改修が望まれるように思います。中小河川の遊水機能が低下しているように思います。	本整備計画の目標に記述しておりますが、ご意見のとおり上下流の治水安全度のバランスを考慮しつつ段階的かつ着実に整備を進め、洪水による安全度の向上を図ります。その結果、下流部の阿賀野川では、上流部の阿賀川及び只見川で安全に流下できる洪水と同じ規模の洪水を安全に流下させることが概ね可能になります。 また、中小河川については新潟県や福島県によって管理されていますが、国が管理する河川整備等の実施にあたっては、各県と連携、調整を図っていきます。	(原案) P119

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
利水(河川の利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項)			
95	生物の環境向上には大賛成です。ダムを少なくして流量を増やして下さい。	一般にダムは河川水量が少なくなった時に水瓶として水量を増やす役割を担う施設です。そのため、ダムを少なくすると渇水時の河川流量は更に減少することとなります。	—
96	夏場における水量確保対策にも力を入れていただきたい。	阿賀野川水系河川整備基本方針において、動植物の生息、生育や良好な水質の確保、塩害の防止、水利使用量など、流水の正常な機能を維持するために必要な流量(正常流量)は、阿賀野川頭首工上流地点において、非かんがい期は概ね77 m3/s、かんがい期は概ね110m3/sとしています。 この正常流量が確保できなくなるような場合には、水量確保対策として水利使用者相互間の水融通の円滑化等を関係機関及び水利使用者等と連携し、渇水等の被害を最小限に抑えるよう努めます。	(原案) P138
97	河川を水道水に利用していることから水質が気になる。	今後も引き続き、定期採水による分析及び水質自動監視装置により、流域の水質状況を把握します。	(原案) P140
98	阿賀野川の水質は全国で16番目、北陸管内で4番目に良い水質であることが調査でわかります。これからも水質全国1位を目指し、水質保全に取り組んで、今まで以上に自然豊かな阿賀野川になるよう願っています。	また、県、沿川自治体及び地域住民と連携し、水質悪化につながるゴミの不法投棄対策等の水質保全に向けた取り組みを行います。	
99	水質保全(改善)のため、流域自治体が連携して取り組むシステムが必要と思う。河川(流域)毎に水質目標を設定し、達成に向けてあらゆる下水道事業を導入して行動することが必要と思う。	流域全体の社会生活などに起因する富栄養化の原因物質については、流域内での汚濁負荷削減に向け、関係地方公共団体、下水道等の関係機関との連携を図りその減少に努めます。	
100	森林保全(水質保全)・工場排水等の管理・下水道普及の向上など、関連機関等で水質保全協議会を立ち上げ具体的な対策を講じたらどうか。	さらに、子供達を対象とした水生生物調査や出前講座などを通じての啓発活動を継続し、流域住民とともに阿賀野川の水質の維持保全に取り組めます。	
101	下水の整備に力を入れるべき。今でも、一部地域では、いわゆる「ドブ」に生活廃水を流している。通船川、鳥屋野潟等の汚れを見てほしい。阿賀野川水系に、間接的にでも、流れ込んでいる以上、「ドブ」がキレイにならない以上、通船川、阿賀野川、さらにはその先の日本海も汚れていくのだ。下水の整備は、河川をキレイにして、農業用水、農作物、さらには近海をキレイにして、漁業までも活性化させるはずだ。		
102	秋葉区では、満願寺地点において、水道水を取水しています。今後とも良好な水質を維持されるよう、上流域における水質保全対策(流域全体における下水道(汚水)整備等)を進めていただきたい。		
103	水質の対策では、水質悪化の防止では無く、積極的な改善対策を行うことが必要と感じる。		
104	BODが他の河川より値が低いから良いということではなく、水質事故の増加の状況を調査して対策をしてもらいたい。	水質事故による利水及び環境への被害を最小限にとどめるため、関係機関と連携して水質事故の被害拡大防止や水質事故防止に向けた取り組みを行います。	(原案) P163

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
環境(河川環境の整備と保全に関する事項)			
105	阿賀野川は周辺住民にとって昔から生活と切り離せないものだったと思うが、最近ではそれほど親しみのあるものではなくなりつつあると思う。事実、この川の全体像を私自身よく知らなかったことがよくわかった。生活の中で、環境的文化的にも川に親しめるように、大変でしょうが整備し続けていただきたい。(できれば川で遊び昔のように泳ぎ、動植物と共存できる川を望みます)	本整備計画の趣旨、河川整備の基本理念、及び本整備計画の目標に記述しておりますが、ご意見のとおり治水、利水、環境に関わる施策を総合的に進めていきたいと考えております。	(原案) P1~P2 P120~P121
106	阿賀野川は、新潟県において信濃川に並ぶ2大河川です。信濃川と比べて阿賀野川は水がきれい自然を感じられる河川なので、自然景観を損う事の無い様、整備してもらいたいです。人が安心して憩いの場として活用する為には、河川の安全が一番です。人と自然と動植物が共生する整備計画及び維持活動を希望します。		
107	洪水を安全に流下させるという視点では下流部、開発された地域、都市部への負荷が増す。◎ゆるやかな流下、ソフトランディングが大事である。◎その為には出来るだけ自然を残すことにより、治水上の安全と環境が両立できる。◎明治天皇御立寄り所からの景観は素晴らしいので是非共残すべきである。		
108	多自然形、生物多様にもとづく河川環境を	阿賀野川は、河口・低平地を流れる蛇行区間、コアジサシの繁殖場となる砂礫河原、オオヨシキリの生息場となるヨシ原、アユの産卵場となる瀬やウケクチウグイの生息場となる淵など、阿賀野川らしい河川環境があり、それに応じた生物が生息・生育していることから、これら阿賀野川らしい河川環境の保全を図ります。 堤防整備、河道掘削、樹木伐採等の工事の実施にあたっては、河川水辺の国勢調査等のモニタリング結果や環境アドバイザー等の意見を踏まえつつ、阿賀野川が有している生物の生息・生育・繁殖環境への影響の回避、低減、代償を図る、多自然川づくりを推進していきます。	(原案) P143
109	緑豊かな河川であり続けることを願って。		
110	あまり人工的に作らないで、川にも遊びを持たせて欲しい。		
111	河川の護岸改修もしかたないと思うが、もう少し見た目や生き物の生息できる改修を願いたい。自分の子供達に護岸だけの川ではなく、生物が息づく川を残して欲しい。(たとえば、甲州の信玄堤のようなもの。コンクリートを丸型にして積み上げるだけでも違うと思う。)		
112	安全第一に考え、そこに自然環境を考慮した美しい景観を保つ施策を行う。あまり経費のかからないように。遊歩道や公園を作っても、あまり利用度が少ないと思うので、先に述べたとおり安全第一、景観を優先に。		
113	川の景色が大好きなので、毎日のように見て和んでいます。いろんな動物もいて、できれば公園にしないで、そのままの自然の状態にしていってほしいです。樹木が密生しているところもジャングルっぽくて大好きなんです。	阿賀野川は、河口部は広大な水面が広がる中、ヨシ原、砂州が分布し、下流部は遠景に山並みを望む中を緩やかに流れ、上流部では砂礫河原が広がるなど、特徴的な景観を呈していることから、河川工事による景観の変更を極力小さくし、阿賀野川らしい景観の保全に努めます。 また、景観が観光資源として寄与するよう、関連自治体等と連携しながら、良好な景観を眺める視点場等の整備を図ります。	(原案) P145
114	阿賀の風景に心引かされています。横越神社の周辺の川辺に桜苗樹を育ててもらえたら、さぞいい景観が生まれると思われそうです。		
115	私は、とくに49号線が好きです。美しいと思います。あのまま、自然を守っていただきたいです。整備することにより整ってきれいですが、その為、あちらこちらで山がハゲています。美しくありません。声を大にして言いたい！自然のまを大切に！！		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
116	阿賀野川の自然豊かな景観が、さらに良くなる様な工事をお願いします。		
117	景観を損ねないような河川整備をしてもらいたいです。		
118	見ていてキレイな川が良い。		
119	河口の景観、自然環境は素晴らしい。松浜橋から河口までと、新郷川までの地域を保護し、観光資源として活用すべきだ。尾瀬のように歩ける場所を限定し、他は立入禁止とすべきだ。松浜地域住民は、見慣れて、足元の宝に気付いていない。		
120	景観などの配慮があり、やすらぎのある川を期待したい。		
121	堤防の上は自動車がコワくて立ってられない。歩いての移動はわずかな区間でも危険を感じる。堤防を降りれば遠方五頭見ることが出来ない。残念に思う。	阿賀野川本川では、河川整備計画の実施区間である河口から阿賀野川頭首工については、魚道のない堰ではなく、縦断方向の連続性は保たれています。揚川ダムより上流については発電用のダムが連続し魚類の遡上はできなくなっていますが、阿賀野川の水力発電は経済社会活動を支えているという側面もあります。 今後は、アユ・サケ等の遡上が困難となっている小阿賀樋門について、魚類の移動の連続性を確保するよう検討するとともに、現在有効に機能している魚道についても遡上障害が懸念された場合には、必要に応じて調査を実施し改善措置を図ります。 なおサクラマスに関しては、現在神通川等においてサクラマスが棲める環境づくりの調査研究が進められており、その結果を阿賀野川にも行かしていきたいと考えております。	(原案) P144
122	サケが福島県へ登れるよう魚道も含め検討して欲しい。		
123	今後30年の計画に、本来登るべきサケが遡れない河川のあり方はどうなのかと、遡上を盛り込むのはどうでしょうか。		
124	昔はサクラマスがたくさんいたようですが、サクラマスが減った理由と対策？		
125	この数字が示すとおり、魚類も増加しているのが確認され良いことなのですが、特定外来種(ブラックバス等)も確認されており、年々増え続けることが心配です。	阿賀野川では、外来生物法で特定外来生物に指定されている動植物等が確認されています。特定外来生物については、学識者から助言をいただいたうえで、関係行政機関と連携を図り適切に対応します。 外来魚への対応としては、生態系の維持保全の観点から、河川水辺の国勢調査等を通じて外来魚の生息実態の把握に努めるとともに、流域の漁業関係者、県水産部局等と連携し、外来魚を持ち込ませないための広報活動や対策等を必要に応じて行います。 なお、これらの外来種対策については、関係行政機関、市民等と連携した取り組みに努めます。	(原案) P167
126	堤防補強を兼ねた桜並木を計画してはどうか。この事によって四季折々の阿賀野川が描かれ地域住民の川を大切にする心が育まれ、自主的に桜の手入れやクリーン作戦等の地域住民の活動、交流の場所になる。	阿賀野川では、花火大会等のイベントが開催され、水辺の楽校の整備や「阿賀野川フラワーライン」が計画されるなど、人と川とのふれあいの場として活用されています。 阿賀野川の河川空間を地域の人々が憩いの場や、自然体験学習の場等として活用できるよう、できるだけ阿賀野川の自然を活かした水辺を整備し、人と川とのふれあいの場を整備します。 特に、阿賀野川の河口部付近、砂礫河原の広がる区間、早出川など	(原案) P147
127	信濃川の「やすらぎ堤」のような親水護岸を作ってほしい。「やすらぎ堤」は都市河川だが、阿賀野川の自然景観を活かした親水護岸を作ってほしい。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
128	通勤で堤防を通ったりするが、道路幅が狭く夜間はあぶないと思う。信濃川のような「やすらぎ堤」を公園のある場所に設けてほしい。	では、人が水辺に近づく身近な親水の間として、関係自治体等と連携し、人と川とのふれあいの間の創出を検討します。	
129	川に親しむ方法・・・工法		
130	魚をとってもいい様な川との触れ合いの間を作って欲しい。		
131	人が水に触れることができる川になって欲しい		
132	子供が川で遊べる環境(勾配の緩い河岸が必要)		
133	人と鳥にやさしい河川敷であってほしい。		
134	勝手な考えですが、公園のような場所が多いと良いと思います。河川とふれあうことで、川の危険性もわかるので子供から大人まで意識が高くなって良いと思います。川で遊ばないと川の良さがわからないと思います。治水が一番ではありますが。		
135	川に対しては不安面だけではありません。子供が阿賀野川フェスティバルや水生生物調査などにも参加させていただいたこともありました。水辺の学校を通して、大人と子供が水と自然を体験できるのは、今後私達が川と生活していくための「川づくり」には欠かせない活動だと思います。河川管理・環境整備を行い、子供達が自然を学び、大人達が散策するなど上流部、中流部ならではの河川空間の利用計画を希望します。また行政には安全な川の保全をお願いしたい。		
136	新潟市内の阿賀野川河川敷を市民が川とふれあえて憩いの間となる様な整備を進めてほしい。		
137	大河川における親水ゾーンは、川の危険度の認識に誤解を与えかねない。親水ゾーンは、小河川などの本来危険の少ない箇所に設置すべきだと思う。		
138	阿賀野川流域に住む私たちが求めるものは洪水はらんの心理がいらぬ河川整備であります。次には、人と阿賀野川のふれあう整備です。自然とのふれあいで子供たちが体験することがらは多いと思います。また、ふれあうことで自然の厳しさを学び歴史を考え次の世代を担う大人になっていくとを考えています。多くの人が河川敷地に足を向ける様な河川整備をお願いします。		
139	住民にとっては、阿賀野川はやはり身近な存在です。河川の環境浄化を含め親しみやすい川となるような対策をお願いしたい。		
140	気持ちを豊かにできる空間。		
141	阿賀野川の広大な高水敷は地域住民の方々の憩いの間となっています。今後も高水敷の整備、補修などを引き続きお願いしたいと思っています。地元には豊かな水源の阿賀野川が流れているという事は、改めてとても幸せな事だと思います。		
142	60歳以上の人は川に慣れているが、それ以下の人は全くダメ。川の中に安全な場所を整備して、そのような人が川を学べるようにして欲しい。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
143	環境の観点から河川敷の遊歩道(松浜橋から阿賀浦橋まで)の整備を検討いただきたい。		
144	魚釣りが誰でも自由に出来ると今以上に川への親しみも多くなり良いと思う。漁業権等も考え検討されたし。		
145	阿賀野川で、老若男女が楽しく魚つりが出来る安全なつり場を造ってくれないか。お願い致します。安田橋から阿賀浦橋の間だけでも結構です。		
146	水利権の話に関してだが、環境に配慮して稲作期以外においても水路に水を流してはどうか？	阿賀野川から浄化用水を導水することで、鳥屋野潟や栗ノ木川など水質悪化が著しく生活環境への影響が生じている箇所の水質を浄化する事業が、関係機関と連携して実施されています。このような支流域における水質浄化対策は、地域の生活環境の改善にもつながることから、今後も継続的な取り組みを行っていきます。	(原案) P81
147	河道内に親水施設を整備しても、堤防上の道路は交通状況が激しく、横断歩道、信号もなく大変危険で”ふるさとの川”に近寄れません。安全に川に近づける工夫を計画して下さい。(老人、子供は絶対に堤防を越えられない！！)		
148	横越～五泉間の堤防道路が狭く自転車道で回りを見ながら通行していると車に對し非常にこわい。この辺の景観はきれいなので自転車道の整備はできないものでしょうか？		
149	川沿いの護岸とそこに出来るはずの新潟安田の自転車道路はどうなったのか私達が生きるうちでは間に合わないと思いますが工事を始めてもらいたいことです。胡桃山地域で止めたまま20年以上も進まない自転車道路、草と雑木のヤブではゴミ捨て場になってしまいます。		
150	堤防を築堤する場合や、幅を広げる際には、その上につくる道路の幅を広げることや、人、自転車が利用しやすいようにしてほしい。		
151	・堤防上は交通量が多い上に狭く歩行に適していないので、歩道を整備してほしい。		
152	・河川を利用した交通機能の確立などは可能か？		
153	・堤防の道路をもっと広くして欲しい。		
154	小阿賀野川、信濃川の堤防改修工事を見ますと、もう少し堤防巾を広げ道路として活用すれば利便、安全(道路利用者から見た場合)が高まると考えますが、阿賀野川の改修では一部道路として使わせるような計画はないでしょう		
155	今の時代堤防は「堤防」としてだけでなく、地域の人の生活道路として大変有意義な道路です。		
156	広い河川敷をもっと市民が憩える場所にしてほしい。公園、スポーツ広場の増設。信濃川のやすらぎ堤のような環境。	阿賀野川では、河口部に広大な水面が広がり、2k付近から少しずつ高水敷が発達し、13k付近では広大な高水敷が形成され、このような状態が30kまで続いています。 高水敷面積に対する河川利用施設(公園、グラウンド)などが23カ所あり、その占用面積の割合は8%となっています。 河川を利用した代表的なイベントとしては、阿賀野川と早出川の合流点にある阿賀野川水辺プラザ周辺での阿賀野川フェスティバル、松浜橋上流での花火大会、阿賀野川床固め公園での「夢探し横越チューリップTulip」が毎年開催されるなど、多くのイベントが行われています。 河川空間の保全と利活用の調整については、平成元年3月に策定された「阿賀野川水系河川空間管理計画」に基づき、流域の自然的・社会的環境の保全と利活用の調整を図ります。	(原案) P114 P147 P158
157	安全にリレーションが出来る場所・施設を考えて頂きたい		
158	それに伴い、親水施設やスポーツ公園といったものができると有効に敷地を活用していけると思う。		
159	阿賀野川下流部の高水敷に運動公園的な施設がありますが、もっと多くの場所に駐車場を完備した運動公園的な施設がほしい。		
160	阿賀野川の下流側には公園施設が充実していますが、上流の方でも作ってほしいです。		
161	新潟市内の阿賀野川沿いには適度な数の公園が整備され良いと思います。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
162	また、河川敷を有効利用した公園整備等を進めていただきたい。	阿賀野川河川敷利用実態調査に基づき、流域の自然的・社会的状況の変化に応じた高水敷等の保全と利用の管理を行います。 河川の利活用に関するニーズの把握にあたっては「川の通信簿」や「河川空間利用実態調査」の実施により、利用状況を定期的に評価・分析し、利用を促進する取り組みを実施します。 河川敷地の占用にあたっては、その目的と治水上、環境上及びほかの占用施設への影響を考慮し、その占用施設が適正に管理されるように占用者に指導します。 また、これまでに整備された施設を適切に管理・運用するとともに、定期的な安全点検を実施します。点検により危険箇所が明らかになった場合は必要に応じた対策を講じます。	
163	旧水原町に河川公園を整備して欲しい。		
164	イベント等について、川を訪れる人間はお客さんであり、主人公はそこに生息する動植物であるという考え方が大切だと思います。イベントの事業主体は自治体でしたら、話の持ち込み先は別でしょうが。		
165	レクリエーションは公園だけでなく、モータースポーツ等の施設整備を要望します。(利用者に応分の負担をもとめることで、利用しない方の理解を)		
166	フィッシング、ボード、ジェットスキーなどマリンスポーツを楽しめる環境作りをしてほしい。		
167	マリンスポーツ・ジェットスキーが楽しめる環境作り、スロープなどの整備をしてほしい。海川がある新潟なのに全然整備が悪く、他県からの人が集まらない。不法係留がなくなる。マリンスポーツに閉鎖的!!		
168	休日にジェットスキーで遊んでいます、阿賀野川も搬入、搬出が簡単にできるスロープ、岸壁等設置してもらいたい。又、横越、秋葉地区にもお願いしたい。		
169	ラジコンヒコキ、ヘリコプター、の滑走路を作ってほしい。	プレジャーボート等の不法係留については、洪水流の河積阻害となり治水への悪影響が懸念されていることから、関係機関と連携し不法係留船対策を実施していきます。	(原案) P159
170	マリーナを作ってほしい。		
171	地域住民の観光事業としての環境整備を将来に向けて。観光遊覧船(信濃川～通船川～阿賀野川～閘門～小阿賀野川～信濃川) 新潟空港からの連携もとれるような。	阿賀野川と上流の阿賀川は、外港のある新潟湊と会津を結ぶ重要な舟運経路となっていました。現在、床固めなどの横断構造物に設置されている船通しは通行可能な船の大きさに制限があるものや、落差が生じて機能していないものがあり、河口には砂州が大きく発達しているため、水上ネットワークが分断されています。かつての舟運を復活させることで、川と流域・地域の繋がりを強め、舟運を観光資源として活用するなど、地域活性化に阿賀野川の活用が望まれます。 このため地元ニーズを把握しつつ、関係自治体等と連携して、阿賀野川と流域の街を結び、かつての舟運の歴史を感じられる賑わいの場として、地域活性化や観光資源の創出に寄与できるよう、水上ネットワークの調査・検討を行います。	(原案) P132 P148
172	川港の整備をして欲しい。		
173	船着き場の整備が、環境をこわす可能性がある。		
174	新潟回廊(阿賀野川・子阿賀野川・信濃川・通船川)として、自由に舟が往来出来ることを望む。観光・災害に役立つものとする		
175	水上ネットワークの検討では、環境を壊す面もあるので十分検討して欲しい。		
176	水上ネットワークの整備を進めることで環境をこわすのではないかな?		
177	水上ネットワークを実現するためには、沢海の床固の改修が必要かと思う		
178	水上ネットワークは、水辺の会、つくり市民会議でも強い要望がある。		

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
維持管理(河川の維持に関する事項)			
179	今後は既設の堤防、構造物の維持管理にも重点を置く必要があると考えます。 政権交代となった現在、治水関係の予算は減る可能性があり、改修する必要な箇所、維持管理費には十分なる予算要求を要する必要があると考えます。	阿賀野川の維持管理の実施にあたっては、阿賀野川の河川特性を十分に踏まえ、「災害の発生の防止」、「流水の正常な機能の維持」、「河川環境の整備と保全」、「河川の適正な利用」等の観点から洪水時や渇水時だけでなく平常時から阿賀野川の有する機能が十分発揮できるよう、河川管理上の重点箇所や具体的な維持管理の内容を定めた計画を作成するとともに、河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとした「サイクル型河川管理」により効率的・効果的な管理を実施します。	(原案) P149
180	地域住民が阿賀野川と”共に生きる”ということが少なくなった現在河道内の雑草及び樹木が激しく繁茂し、水に近寄れない状況で、“ふるさとの川”がそこに流れているだけの状況で親しめないのが、適正な管理計画の策定が必要と考えます。		
181	本線の整備、維持管理が優先だと思いますが、支線の整備、維持管理も忘れないでほしい。	支川の大正管理区間についても本川大正管理区間と同様に整備、維持管理に取り組んでいきます。	(原案) P3
182	大雨が降った時など河川の増水した時の対処等をしっかりしてもらいたい	洪水時の危機管理として次のような取り組みを行っていきます。 ○緊急時の情報提供	(原案) P161 P162
183	阿賀野川の川幅を最大限生かした管理を行って欲しい。既往洪水を上回る規模の洪水があったとき、何が起きるかを想定した管理が必要と考えます。整備に加え、維持管理でも対応すべき事があると考えます。	円滑な水防活動や警戒避難活動を支援するため、水位情報・CCTV画像等について、CATVを活用した水位情報・CCTV画像の等の提供等、関係機関と連携し、情報の伝達ルートの拡充と伝達の迅速化に努めるとともに、情報の受け手の立場に立って分かりやすく適切な判断に資するよう情報提供します。	
184	危機管理体制の整備・強化について。※情報提供システムのイメージ図を見て喚起したのですが、豪雨で阿賀野川流域の水位の上昇か？ダム放水の注意か？サイレンによる警報？聴くことがありますが、その内容を理解していない人が多いと思うのでその周知徹底が重要と思いますが！	また、洪水被害の未然防止及び軽減を図るため、洪水の予測を行い、気象台と共同して迅速に洪水予報を発令するとともに、水防警報を迅速に発令し、円滑な水防活動の支援や災害の未然防止を図ります。 ○洪水時等の巡視	
185	阿賀野川の安全対策整備に心から感謝いたしております。 阿賀野川沿線の濁川地区としてのご要望 ☆温暖化に伴う異常気象で豪雨・大洪水がまさかの災害に襲われた場合を想定して緊急避難情報伝達のため光とサイレン等を備えた警報塔の設置を早急をお願い申し上げます。人命に係わるため安心安全の河川対策として是非ともお願い申し上げます。	洪水発生時には河川巡視のほか、水文観測施設やCCTV画像を活用し、堤防等の河川管理施設や許可工作物の異常を早期に発見するとともに迅速な水防活動が行えるよう努めます。	
186	ソフト対策を！（直接関係ないと思いますが）。携帯電話への一斉通報は可能なのでしょうか。	治水・利水及び環境に関する情報の収集として、雨量・水位・水質の観測データをはじめとし、河川情報カメラ画像や河川工事・調査・管理に関する情報等の把握を行います。収集した情報については、光ファイバーなどの高速通信手段を活用し、報道機関やインターネット、携帯電話(iモード)等を通じて、一般の方々に迅速に提供します。最近頻発するゲリラ豪雨による水害・土砂災害への対応の強化につながります。	(原案) P160

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
187	「管理の高度化」とは？ ※ 各種点検、調査、情報の収集・提供の手法として理解した場合、事項として記載すべきものなのか疑問が生じます。	河川管理施設の遠隔操作による管理の高度化や、情報の収集・提供の手法をより高度化するための具体的な方策を記載したものです。	(原案) P160 P161
188	北区松浜みなとの住人です。河口(松浜みなと裏手)の砂浜が、毎年削られて減ってきてます。住んで10年になりますが、10年前の面影はありません。将来が非常に不安です。対策など考えて頂きたいと思います。	河口部の砂州は、冬季風浪等により発達し、融雪期や台風期等の洪水時にはフラッシュされ、その位置を変化させながら伸長と減退を繰り返していますが、そのメカニズムは解明されていません。	(原案) P63 P154
189	阿賀野川河口の松浜ですが、松浜だけ波消ブロック等の護岸がありません。早急に対策を考えて頂けないでしょうか。	河口部の砂州は、大きく発達すると河口閉塞を起こし、洪水時の水位を上昇させ治水に対する安全性を低下させたり、舟運障害となります。逆に減退すると波浪が直接当たり護岸等を構造物を破壊したり、塩水遡上による取水障害を引き起こすなど、様々な問題が生じる可能性があります。そのため、河口砂州の動態等についてモニタリングを行い、適切な維持管理を行う必要があります。	
190	夏の堤防の除草をこまめにやってほしい。	堤防除草は、堤防の亀裂・法崩れ等の異常を早期に発見することや有害な植生を除去することなど、堤防機能の維持を主な目的として実施します。また、水防活動の円滑化や害虫発生・繁殖の防止により周辺環境を良好に保つといった効果があるなど、重要な維持管理作業です。除草時期、頻度については、周辺の植生、背後地の状況等を考慮し適切に実施します。	(原案) P156
191	築堤時には多くの人力により丁寧に施工された堤防の表土は、施工時の和芝張から洋芝となり、さらに雑草が繁茂する姿に変わりました。 除草作業時の集草作業が、予算の都合で省かれたこともあって、堤防の表土部は、モグラ等の絶好な住みかとなっており、堤防本体の弱体化が著しく進んでおりますので、予算上の問題を承知のうえで、現況調査を早急に行なわれ、モグラ等の駆除対策を行なわれる必要性をご提案させていただきます。	河川巡視等により確認された堤防変状(降雨や流水による侵食、モグラ穴等による損傷等)を放置した場合、洪水時に堤防損傷が拡大し堤防亀裂や陥没等、重大な被災につながる可能性があります。このため、日常的な河川巡視等を継続的に実施し変状を適切に評価した上で変状箇所の原因等を究明し、機動的かつ効率的な補修を速やかに実施し、災害の発生を未然に防止します。	(原案) P156
192	樹木伐採は毎回お金がかかる事業で、今後公共事業費が削減されていくなかで、人為的に中小洪水を起こすことで砂礫を保持することができるのではないか。	阿賀野川の河床を攪乱させるほどの人工洪水を起こすことは、ダムで貯えた貴重な水を大量に流す必要があることや、人工洪水による河川施設災害の発生など様々な弊害が考えられます。 維持費を抑えつつ砂礫河原を保全する方法としては、砂州上に樹木が生えたら伐採するだけでなく、平水位程度以下に地盤高も切り下げで中小洪水の攪乱を受けやすくするなど、樹木が生えにくくするという方法があり、今後、検討していきます。	—

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
193	緊急資材の維持管理・点検 緊急資材の設置状況の周知徹底 (災害時用の緊急資材の保有状況の協会への定時と把握) 緊急資材の維持管理 (災害用の備蓄異形ブロックが雑草に埋もれている。搬出経路が無い)	洪水等による災害を防止又は軽減するためには、堤防整備等の基盤整備と併せ、地域における水防活動が重要です。このため、水防資材の備蓄、水防工法の伝承・開発及び水防訓練等を県・市町と協力して実施するとともに、重要水防箇所の周知及び合同巡視等を行うことで、水防体制を維持・強化します。 水防資材の備蓄倉庫等については、各水防管理団体とともに整備の充実を図り、定期的に水防活動に必要な備蓄資材の点検を実施し、災害発生時に耐える資材の確保や体制づくりを進めます。	(原案) P164～P165
194	河川の環境整備はよいが、維持管理が不備。 (地元利用者とのタイアップで整備等)	市民団体、非営利機関(NPO)、地域住民及び市民ボランティア等の協力を得て河川の維持管理を行っていきます。 その際、地域住民が積極的に河川管理に参加できるよう、河川愛護モニター制度や、「ボランティア・サポート・プログラム」の推進など、NPO・自治体・河川管理者の積極的な連携を進めていきます。	(原案) P168～170
195	ハード面だけでなく、森林保水に積極的に関わるようにすべきと思います。	本整備計画の目標達成までには概ね30年の長期間を要します。そのため、流域の土地利用と一体となった河川整備や流域内の流出抑制対策などの水害に強い地域づくりに向けた取り組みなどは、河川管理者をはじめとした行政だけの対応には限界があります。 これらの課題に柔軟に対応し、取り組みを実効性のあるものとしていくためには、地方公共団体などの行政担当部局と河川管理者の緊密な連携はもとより、地域住民の理解と協力に基づく流域一体となった連携・協働が必要不可欠です。	(原案) P166
196	大浜陸閘を手動以外でも、操作できるようにしてほしい。	大浜陸閘については、操作性の向上に向けた検討を行っていきます。	—
197	伐採木の無償提供の機会を増やしていただけるとありがたいです。(薪ストーブ使用の為) ネット以外の受付もあると(ハガキ・FAXなど)さらに助かります。	伐採により発生した樹木は、周辺地域での利活用の可能性や需要状況を踏まえ、有効的・効果的な無償配布を図るように努めていきます。	(原案) P155 P168

阿賀野川河川整備計画(骨子)に対する住民からのご意見(阿賀野川)

No.	ご意見・ご質問	ご意見などに対する考え方	該当箇所
その他のご意見について			
198	五泉市咲花にある農林水産省阿賀野川頭首工から取水した水がここより下流の兩岸の水田の農業用水に使われていることを最近知りました。		
199	満願寺の水門は何の為にあるのか教えてください。小学生の頃、ここまで遠足にきた記憶があります。		
200	9/29日の説明会には出席するつもりです。第13回写真コンテストのデジタルで入選しました。		
201	流域のエコ対策として、低水圧発電など水とエコ対策があると効果的だと思います。		
202	住宅地や農地に近い阿賀野川や安野川などの狩猟は生態系や人間にも悪いし、危険なので禁止してほしい。		
203	パネル展示の中で、亀田郷を中心にした新潟市の標高地形図があった。(色分けしてあった) 小学校4年の社会の学習に非常によい資料となる。もし作成のもとになっているデータをいただければ授業に有効に使えると思う。あとで問い合わせをするかもしれません。		
204	小阿賀野川で木船を浮かべる会に参加しているが、満願寺閘門の上流側に砂が溜まっていて、小阿賀野川から阿賀野川に出ることが出来なかった。		
205	小阿賀野川は、河川改修により堤防が高くなり、その分水辺に親しむことが出来なくなった。水辺へのアクセスを整備して欲しい。		